

## 第2節 学校教育課

### 〔総括概要〕

栃木市総合計画「基本方針・V」に基づき、人生の礎となる「生きる力」を身に付けた子どもたちをしっかりと育てることができるよう、各種事務事業を実施し、未来を担う栃木市の子どもが「自分のよさをのびのびと発揮し、自らの意志で自らの人生をいきいきと切り拓く力」（生きる力）を育むことを目指した。

まず、学力向上については、教員の授業力の向上に向けたリーフレット「とち介の学び」をもとに、訪問の要請を受けた小中学校に対して指導助言を行った。3学期には、市内全43小中学校に対して、指導主事による学力向上に係る学校訪問を実施し、校長と学習指導主任から各校の成果と課題を確認した。また、放課後教室については、本年度も市内小学校で開催し、基礎基本の定着と学習意欲の向上を図った。更に、学力向上推進研究校として都賀ブロックの小中学校を指定し、3か年研究の初年度として、教員の指導力の向上とすべての子どもたちに対する学びやすさを目指した指導、支援の方法について研究を進めた。

小中一貫教育については、「栃木市小中一貫教育ガイドライン」をもとに、市内14の中学校ブロックで、小中合同研修会や推進委員会を開催し、地域ぐるみでの小中一貫教育を推進した。栃木市小中一貫教育研修会においては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止とした。

人権教育については、令和2・3年度の2か年、岩舟ブロックの小中学校を人権教育実践研究校に指定して、「人権感覚を磨き、自ら考え判断し、自ら行動する児童生徒の育成」を目指した研究を推進した。

道徳教育については、令和2・3年度の2か年、藤岡第一ブロックの小中学校を道徳教育推進研究校に指定して、「ふるさとに誇りをもち、ともに夢に向かってたくましく生きる児童生徒の育成」を目指した研究を推進した。

グローバル外国語教育については、小学校では、1つの学校に複数のALTが一日訪問し、全児童が英語によるコミュニケーション活動を体験する「グローバルデー」を2校で実施、中学校では、市内の全生徒が自分の学校以外のALTと1対1でコミュニケーションを体験する「スピーキングテスト」を実施し、目指す子ども像「多様性を受容し、主体的に思いや考えを伝え合う子ども～ふるさと栃木から世界へ！～」の具現化に向けた研究を推進した。

いじめ対策の取組としては、いじめ問題に対する児童生徒の主体的な行動を推進することを目的とし「“あったか栃木”いじめ防止子どもフォーラム」を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市立小中学校について4、5月を臨時休業としたことから、夏季休業日を8月1日から8月16日までに短縮するなど、各種事業において状況を見極めながら学習の機会を確保した。

## 1 学務に関する事業

### (1) 教職員の人事事務(県費負担職員)

年度末における完退者及び定期異動に伴う転退者、転採者、転勤者あるいは新採者について、それに関する書類作成、辞令交付式の開催、また、年度途中における産育休者、傷休者等についてその休暇承認や補充者採用の内申等を行った。

(単位：人)

完退者	転退者	転勤者	転採者	新採者
40	58	84	43	31
傷休者	休職者	介休者	産休者	育休者
13	3	1	28	52

### (2) 教職員の服務・管理に関する事務(県費負担職員)

- ・年度末教職員人事異動に伴う学校管理事務説明会
- ・人事異動に伴う事務
- ・学級編制に関する事務
- ・学校事故に関する事務
- ・各種選考試験に関する事務
- ・教職員評価制度に関する事務
- ・表彰に関する事務
- ・公務災害に関する事務
- ・教員免許制度に関する事務
- ・教職員の履歴に関する事務

### (3) 教職員の給与内申発令関係事務

教職員の昇給の時期は、4月1日であり、その約1か月前に届いた定期昇給昇格内申書の内容について昇給予定者の記載漏れはないか、昇給延伸該当者で昇給として記載されている者はないか等の点検を行った後、県教育委員会に内申を行った。

### (4) 教職員団体に関する事務

地方公務員法及び職員団体の登録に関する条例・規則に基づいた教職員団体に関する事務を行った。

### (5) 児童生徒の就学に関する事務

小中学校児童生徒就学状況

(単位：人)

区 分	小 学 校		中 学 校	
	児童数	学級数	生徒数	学級数
令和元年5月1日	7,605	352	3,865	159
令和2年5月1日	7,424	347	3,862	157
比 較	-181	-5	-3	-2

### (6) 小中学校教育環境整備事業(理科教育設備整備等事業)

理科教育設備整備費等補助金により、小学校15校、中学校14校の理科及び算数・数学教育に関する設備の整備を行った。

	整備額（円）
小学校	882,448
中学校	571,351
合 計	1,453,799

(7) 教科書無償給与事務

小中学校児童・生徒教科書給与事務（単位：冊）

区 分		冊 数
小 学 校	前期用	67,188
	前期転学用	191
	後期用	13,307
	後期転学用	119
中 学 校	前期用	42,460
	前期転学用	39
	後期用	-
	後期転学用	60
合 計		123,364

(8) 教師用教科書及び指導書等購入貸与事務

小中学校の教師用教科書及び指導書等を購入し貸与した。

区 分	冊数（冊）	費用（円）
教師用教科書 前後期用	4,465	5,129,552
教師用指導書等 前後期用	3,127	56,980,022
合 計	7,592	62,109,574

(9) 臨海自然教室実施事業

とちぎ海浜自然の家での集団宿泊生活を通じて学校教育活動を行う、臨海自然教室を実施する事業であるが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、実施の有無は各学校長の判断となった。

・市内4校が日帰りにて実施、1校が1泊での短縮日程にて実施した。

(10) 特色ある学校づくり奨励補助金事業

学校独自の「特色ある学校づくり」を推進することを目的として、学校が実施する特色ある教育活動に要する経費に対し、補助金を交付した。

・市内40の小中学校で実施、交付金額1,900,000円

指導係

1 指導に関する事業

(1) 学校訪問指導

学校運営、学習指導、生徒指導、人権教育等に関して指導した。

ア 共同訪問

栃木第四小、国府南小、部屋小、合戦場小、東陽中、皆川中、大平中

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、次年度へすべて延期)

イ 研究学校

- (ア) 市指定人権教育実践研究校
  - ・岩舟小、静和小、小野寺小、岩舟中
- (イ) 市指定学力向上推進研究校
  - ・合戦場小、家中小、赤津小、都賀中
- (ウ) 市指定放課後教室研究校
  - ・市内全小学校
- (エ) 市指定道徳教育推進研究校
  - ・藤岡小、赤麻小、三鴨小、藤岡第一中

ウ 学校訪問実施状況

No	学校名	教科等	期日		備考
1	栃木中央小	グローバルデー	11月17日	火	
2	栃木第三小	算数・社会	11月25日	水	
3	栃木第四小	算数・算数	10月28日	水	
4	栃木第五小	国語	10月30日	金	
5	南小	国語	10月30日	金	
6	大宮南小	講話	8月3日	月	学校課題研修を進めるための指導助言
7	大宮南小	国語	11月25日	水	
8	大宮南小	ビデオリフレクション研修	1月27日	水	
9	大宮北小	講話・実技(外国語)	6月8日	月	外国語科の授業と評価
10	皆川城東小	講話	8月3日	月	小中一貫合同研修会
11	吹上小	国語(2授業)	10月14日	水	
12	千塚小	道徳	11月25日	水	
13	寺尾小	国語	10月22日	木	
14	国府南小	国語	2月2日	火	
15	国府北小	算数(2授業)	10月20日	火	
16	大平東小	国語	10月21日	水	
17	大平南小	社会(2授業)	10月27日	火	小中一貫合同研修会
18	大平西小	国語	10月28日	水	小中一貫合同研修会
19	大平中央小	グローバルデー	11月11日	水	
20	大平中央小	国語(2授業)・社会	12月4日	金	
21	藤岡小	道徳(2授業)	10月7日	水	道徳教育推進研究校
22	藤岡小	道徳	11月4日	水	道徳教育推進研究校
23	部屋小	講話	8月3日	月	学習評価についての講話
24	部屋小	国語	9月23日	水	
25	赤麻小	算数	10月6日	火	
26	赤麻小	道徳	2月17日	水	道徳教育推進研究校
27	三鴨小	道徳	9月25日	金	道徳教育推進研究校

28	三鴨小	社会	10月19日	月	道徳教育推進研究校
29	合戦場小	算数	11月4日	水	学力向上推進研究校
30	家中小	国語	11月24日	火	学力向上推進研究校
31	赤津小	国語	11月18日	水	学力向上推進研究校
32	西方小	算数	10月14日	水	
33	真名子小	算数	10月21日	水	
34	岩舟小	学活	10月21日	水	人権教育研究校
35	岩舟小	社会	11月18日	水	人権教育研究校
36	静和小	社会	11月4日	水	人権教育研究校
37	静和小	学活	2月3日	水	人権教育研究校
38	小野寺小	社会	11月11日	水	人権教育研究校
39	小野寺小	学活	1月28日	木	人権教育研究校
40	栃木東中	自閉・情緒	9月23日	水	
41	栃木東中	道徳	11月11日	水	小中一貫合同研修会
42	栃木東中	理科	1月20日	水	
43	栃木西中	数学(2授業)	11月12日	木	
44	栃木南中	理科	11月12日	木	
45	皆川中	道徳	6月10日	水	
46	皆川中	社会	11月18日	水	小中一貫合同研修会
47	吹上中	保健体育	12月11日	金	
48	寺尾中	数学	1月29日	金	
49	寺尾中	道徳	10月6日	火	
50	大平中	道徳	11月17日	火	
51	大平南中	数学・英語	11月9日	月	
52	大平南中	講話	11月18日	水	各教科の評価に関する講話
53	藤岡一中	道徳	9月30日	水	道徳教育推進研究校
54	藤岡一中	道徳	11月17日	火	道徳教育推進研究校
55	藤岡二中	社会	9月30日	水	小中一貫合同研修会
56	都賀中	道徳	12月4日	金	学力向上推進研究校
57	都賀中	国語	1月28日	木	学力向上推進研究校
58	西方中	英語・数学	11月18日	水	小中一貫合同研修会
59	岩舟中	社会	10月9日	金	人権教育研究校

・学校課題 【別表】学校課題・研究主題等一覧参照

(2) 教育研究発表会

市内の保育園、認定こども園、小・中・高等・特別支援学校等の教職員を対象に、学校や個人等で取り組んできた教育実践研究の成果を発表して共有し、教職員の資質及び指導力の向上並びに市内の園児・児童・生徒の健全な育成を図ることを目的に行った。

・発表方法 録画による動画の限定配信（口頭発表）

市教育研究所ホームページへの文書データの掲載（紙上発表）

- ・配信日時 1月22日（金）午前10時～
- ・口頭発表 9件（小学校5件、中学校3件、特別支援学校1件）
- ・紙上発表 5件（小学校4件、中学校1件）

(3) 人権教育研修

各人権課題に対する人権教育主任としての見識を高め、教職員としての資質向上を図るために小中学校の人権教育主任等を対象に人権教育研修会を開催した。

また、岩舟中学校区の小中学校を人権教育実践研究校に指定し、人権感覚を磨き、自ら考え判断し、自ら行動する児童生徒の育成を目指した実践的な研究を実施した。

ア 第1回栃木市人権教育研修会

- ・5月26日（火）に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

イ 第2回栃木市人権教育研修会

- ・実施日 10月13日（火）
- ・場 所 大平隣保館
- ・講 話 「同和問題の現状と課題」
- ・講 師 部落解放同盟栃木県連合会事務局長 戸田 眞 氏
- ・参加者 各小中学校1～2名の教職員（主に教職10年目までの教員対象）

ウ 研究指定校(岩舟ブロック：岩舟中、岩舟小、静和小、小野寺小)での取組み

(ア) 研究授業・授業研究会の実施

- ・実施日 10月 9日（金）岩舟中
- 10月21日（水）岩舟小
- 11月 4日（水）静和小
- 11月11日（水）小野寺小
- 11月18日（水）岩舟小
- 1月28日（木）小野寺小
- 2月 3日（水）静和小

(イ) 研究推進委員会と研究企画部会の開催

- ・小中学校が連携した研究を推進するための会議の実施  
研究推進委員会(校長、教頭、教務主任、研究担当者)  
実施回数 2回 6月9日(火)、2月22日(月)
- 研究企画部会(教務主任、研究担当者)  
実施回数 4回 5月7日(木)、5月28日(木)、11月5日(木)、  
1月25日(月)

(4) 外国語指導助手学校派遣

小中学校の英語教育を充実させるため、外国語指導助手（ALT）27名を各学校に派遣し、外国語を通じたコミュニケーション力の育成に重点を置いた授業を展開した。

小中学校ごとに訪問計画を立て、市内全小中学校へ、長期休業を除く月曜日から金曜日に訪問した。

延べ訪問日数 (単位：日)

中学校	1,519
小学校	3,450
合 計	4,969

(5) 特別支援教育関係事業

特別支援教育に関わる人材を育成し、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導法や校内支援体制の整備について学び、資質の向上を図るため、研修会等を開催した。

ア 特別支援教育コーディネーター連絡会議

・実施回数 1回

・対 象 特別支援教育コーディネーター 参加者43名

イ 児童生徒支援研修会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

ウ 通級指導教室担当者研修会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

エ 通級指導教室担当者事務連絡会議

・実施回数 1回

・対 象 通級指導教室担当者 参加者12名

オ 学校支援員研修会

・実施回数 2回

・対 象 全支援員 参加者64名

カ 特別支援学級担当者研修会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

キ 臨床心理士や学校教育支援専門員による全校巡回訪問支援等

(6) 幼・保・小連絡協議会

栃木市内の幼稚園、保育園、認定こども園及び小学校の連携を図ることにより、幼児・児童の教育効果を一層高めるために、研修会等を計画した。

ア 代表者会議（年2回）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2回とも書面にて通知

イ 全体研修会（令和元年度幼小連携推進者の講話）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

ウ 幼保小教職員相互職場体験研修

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

エ 地域別研修会（栃木・都賀・西方地域、大平・藤岡・岩舟地域、各2回）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(7) 地域ぐるみ児童生徒指導

児童生徒の健全育成を図るため、学校と家庭、地域が連携し、各中学校区での情報交換や教育講演会の開催、小・中・高の異校種間による合同研修会等を実施した。

ア 14中学校区児童生徒指導連絡協議会

各中学校区で教育講演会や健全育成推進活動を展開

- ・実施期間 7月～2月
- イ 栃木市児童生徒指導研究会  
異校種間の情報交換や合同研究会を開催  
・実施期間 4月～3月
- ウ 児童生徒支援研修会  
小学校児童指導主任、中学校生徒指導主事、特別支援コーディネーターによる  
合同研修会を開催  
・実施日  
8月21日（金）を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- エ 各部会

部会名	実施回数または実施日
中学校部会	毎月1回
中・高部会	11月2日（月）

(8) 適応指導教室運営に関する事務

適応指導員等が、不登校及び不登校傾向にある児童生徒に対して、学校復帰を含む社会的自立に向けた指導及び支援を行ったほか、保護者に対する教育相談を行った。

- ・適応指導教室通級人数 37人（学校復帰人数22人）

（単位：件）

来所相談	1,624
電話相談	1,033
学校訪問	57
家庭訪問	72
合計	2,786

(9) スクールソーシャルワーカー配置事業

社会福祉の専門的な知識技術を有するスクールソーシャルワーカーを2名配置し、学校内や家庭生活において問題を抱える児童生徒に対して、家庭、学校、地域の関係機関をつなぎ、問題の解決を図った。

ア 実施状況

- ・対応件数 183件（うち終結した件数61件、他機関へ引き継いだ件数72件、引き続き対応している件数50件）

(10) 防災教育推進事業

児童生徒が災害発生時に、自ら危険を予測し回避するために、災害に関する知識に基づいて的確に判断し、迅速に行動する力や、自他の生命を尊重し、最善を尽くし

「主体的に行動する」態度を育成するための防災教育の充実を図った。

ア 栃木市防災教育基本プログラムの活用

- ・各校の各教科等の年間指導計画上に防災教育との関連を明記、栃木市防災教育基本プログラムを活用した防災教育の系統的・計画的な実施（実施校数：43校）

イ 実践的体験活動の充実

- ・緊急地震速報等を活用した実践的な避難訓練を実施(実施校数：43校)

(11) 小中一貫教育推進

「栃木市小中一貫教育ガイドライン」をもとに、平成29年度から市内全小中学校で実施している。

各中学校ブロックで設定した目指す子ども像の実現のために、重点目標を設定しブロックならではの義務教育9年間の一貫性のある教育を推進した。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため多くのブロックが開催を中止する中、少人数での開催や文書による会議により、4ブロックで合同学校運営協議会（ブロック会議）を実施した。

ア 合同学校運営協議会（ブロック会議）

- ・皆川ブロック 11月19日（木） 皆川城東小学校
- ・寺尾ブロック 1月 文書による会議
- ・藤岡第一ブロック 7月 文書による会議
- ・藤岡第二ブロック 9月30日（水） 藤岡第二中学校

イ 栃木市小中一貫教育研修会

8月17日（月）に寺尾公民館での実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

【別表】学校課題・研究主題等一覧

学校名	学 校 課 題 ・ 研 究 主 題	教科等	備 考
栃木中央小	一人一人が生き生きと学び、どの子も「分かる」を実感できる授業の在り方～かかわりあいの中で学ぶ授業実践を通して～	国語科・理科を中心とした全教科	
栃木第三小	学び合いを生かした思考力・表現力の育成～自分の考えを「書く」「話す」力を伸ばす指導の工夫～	全教科・全領域	
栃木第四小	自らよく考え、共に学び、しっかり表現できる児童の育成 ～算数の学力向上を目指して～	算数	
栃木第五小	読解力を高める指導法の工夫～国語 自分の考えを広げ深める対話的な学びを通して～	国語科	
南小	話す・聞く力、伝え合う力の育成～目的や場面、状況に応じたコミュニケーション活動をとおして～	全教科	
大宮南小	多様な意見や情報をもとに主体的に考え、表現できる子どもの育成～関わり合いの中で、コミュニケーション能力や表現力を高めるための指導法の工夫～	国語科	
大宮北小	多様な意見や情報をもとに主体的に考え、表現できる子供の育成～国語科 言語活動の充実を図った「読むこと」の授業づくり～	国語科	
皆川城東小	学ぶ力と心豊かな人間関係の育成を目的とした小中一貫教育の推進～自他のよさを認め、共に学び高め合う児童生徒の育成～	国語科	
吹上小	自分の考えをもち、学び合う子どもの育成～国語科「読むこと」の学習を通して～	国語科	
千塚小	自分の思いや考えを伝え合い、自分の考えをより深めることができる児童の育成～ICT 機器を活用した学び合いの工夫を通して～	全教科	
寺尾小	一人一人が考えをもち、聞き合い認め合い練り上げる力を育てる指導法の工夫～国語科を中心とした言語活動の充実を目指して～	国語科	

国府南小	多様な意見や情報をもとに主体的に考え、表現できる子供の育成～言語活動を通じてつくる国語科授業の実践～	国語科	
国府北小	多様な意見や情報をもとに主体的に考え、表現できる子供の育成～系統性を踏まえた数学的活動の工夫～	算数科	
大平東小	主体的に学び、いきいきと表現する児童の育成～国語科の授業改善を通して～	国語科	
大平南小	ふるさとに誇りをもち、ともに夢に向かってたくましく生きる児童・生徒の育成～進んで社会にかかわろうとする子どもを育てる社会科の授業の工夫～	社会科	
大平西小	目標と指導と評価の一体化による学ぶ力の育成	国語科・算数科	
大平中央小	ふるさとに誇りをもち、ともに夢に向かってたくましく生きる児童・生徒の育成～自ら考え、友達と共に学び合い、読み解く力を育む授業の工夫～	国語科・算数科・社会科（学年ごとに）	
藤岡小	「聞く・考える力の育成」～相手の意見に耳をかたむけ、根拠をもって自分の考えを表す指導の工夫を通じて～	全教科（特に道徳）	道徳教育推進研究校（市指定）
部屋小	主体的に表現できる児童の育成～書く力、話す力、聞く力を育てるための工夫～	全教科・全領域	
赤麻小	「わかる！」「できる！」を楽しみながら、考え表現する力を高める授業の創造～ユニバーサルデザインの視点を取り入れた算数科の指導を通して～	算数科・道徳科	道徳教育推進研究校（市指定）
三鴨小	つながりのある学びの展開～日々の体験・心情を伝え合うことを通して、自分の考えを広げる授業を目指して～	道徳科	道徳教育推進研究校（市指定）
合戦場小	かかわりを通して自分の考えを深める児童の育成～対話的な授業づくりの工夫～	国語科・算数科	学力向上推進研究校（市指定）
家中小	自ら学び生き生きと活動できる児童の育成～自らの考えを表し、学び合う学習活動の展開～	国語科 算数科	学力向上推進研究校（市指定）

赤津小	自分の考えをもち 意欲的に学び合う子どもの育成～お互いの考えを伝え合い、深める活動を通して～	総合的な学習の時間等	学力向上推進研究校 (市指定)
西方小	主体的に取り組み深く考える子の育成～主体的な学びを実現するための算数の授業づくり～	算数科	
真名子小	よく考え、自ら学ぶ子の育成～目的意識をもって主体的に学習に取り組む児童を育てる～	算数科	
岩舟小	自他のよさを認め合い、ともに高め合う児童の育成～豊かな人権感覚をはぐくむ授業づくりと人間関係づくりを通して～	各教科等	人権教育実践研究校 (市指定)
静和小	一人一人の良さを認め合い、自分で考え、行動できる子どもの育成	社会科、学級活動	人権教育実践研究校 (市指定)
小野寺小	一人ひとりの個性を大切にし、互いに認め合う児童の育成	社会科、学級活動	人権教育実践研究校 (市指定)
栃木東中	一人一人が生き生きと学び、どの子も「分かる」を実感できる授業の在り方～一人一人の生徒の実態を踏まえた学力の保証を目指して～	国語、道徳、理科	
栃木西中	主体的に学びに向かう生徒の育成～「とち介の学び」を基盤として～	全教科	
栃木南中	自ら考え、家庭学習に取り組む生徒の育成～主体的に取り組むための学習支援の工夫～	教科指導全般（特に国語、社会、数学、理科、英語の5教科）	
東陽中	自らを律し、自己実現を目指す生徒の育成～より良い人間関係を築くコミュニケーション活動を通して～	全教科	
皆川中	学ぶ力と心豊かな人間関係の育成を目的とした小中一貫教育の推進～自他のよさを認め、共に学び高め合う児童生徒の育成～	全教科	
吹上中	表現力を育成する指導方法の工夫～自己の考えを積極的に伝え合い、深い学びにつながる活動を通して～	全教科 (特に保健体育科)	

寺尾中	確かな学力の育成を目指した指導法の工夫～質の高い学び合いを目指した授業の改善～	全教科	
大平中	生徒一人一人の学びを大切にした授業の創造	全教科	
大平南中	主体的に学び、互いに高め合う生徒の育成～生徒が主体的・対話的に学び合うための授業改善を目指して～	全教科	
藤岡第一中	「安心・自信・意欲」を高めるための「わかる授業づくり」と「自立した学習者」を育成するための指導の充実	道徳科	道徳教育推進研究校 (市指定)
藤岡第二中	「自他を尊重し意欲的に学び、自ら力を伸ばせる生徒の育成」～主体的活動の実践による表現力の育成を目指して～	数学科、社会科	
都賀中	基礎・基本の力を高め、主体的・協働的に課題解決できる生徒の育成～できた・わかった・楽しい「授業づくり」をとおして～	5教科を中心とした全教科	学力向上推進研究校 (市指定)
西方中	「主体的、対話的で深い学び」に向けた学習指導の工夫・改善～学び合いと振り返りの充実を目指して～	全教科	
岩舟中	互いに人権を尊重し、いきいきと生活する生徒の育成～「差別しない・負けない・許さない」心作りを通して～	社会科、学級活動	人権教育実践研究校 (市指定)

\*表記につきましては、各学校から報告された文言で示してあります。